

グラフィックデザイン応用

担当教員 草谷隆文

受講アトリエ [302]

2025/06/10(火)- 2025/06/30(月)

9 : 20-12 : 30/13 : 30-16 : 30

授業内容

実際のコンペに各自参加し、コンペのテーマを全員で理解し、研究する。そして、ディスカッションをしながら、各自に合ったテクニックや表現方法をそれぞれ指導していく。事前準備や 作業の進め方は授業の中で説明。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月10日	火		広告デザイン応用	○	実習	
2	6月11日	水		制作		就活ポートフォリオ	
3	6月12日	木		制作	○	実習	
4	6月13日	金		制作		メディアデザイン応用	
5	6月14日	土		—		物撮り&証写	※希望制
	6月15日	日					
6	6月16日	月		制作		制作	
7	6月17日	火		広告デザイン応用		制作	
8	6月18日	水		制作		就活ポートフォリオ	
9	6月19日	木		制作	○	実習	
10	6月20日	金		制作		メディアデザイン応用	
11	6月21日	土		—		物撮り&証写	※希望制
	6月22日	日					
12	6月23日	月		制作		制作	
13	6月24日	火		広告デザイン応用	○	実習	
14	6月25日	水		制作		就活ポートフォリオ	
15	6月26日	木		制作		制作	
16	6月27日	金	○	実習		メディアデザイン応用	
17	6月28日	土		—		物撮り&証写	※希望制
	6月29日	日					
18	6月30日	月		制作	○	講評	

学習目標

「条件のある」「与えられたテーマ」を、自身の個性や特性をバランス良く取り入れたポスター制作をする。また、長期間にわたる制作期間を、上手くスケジューリング出来るようにする。

予習・準備物

公募展の詳細を把握 各自何のプロセス・テーマで作るか決めておく初日に発表 後に変更しても良い。例年通り授業終了後に実際のコンペ参加も可。

注意事項

過去の JAGDA国際学生ポスターアワード の入選作品・カタログを手に入れて目を通しておく。自分なりの試してみたいコンペとの接点を見つけておく。

評価方法

課題作品70% 制作態度・積極性30%

グッズ制作

担当教員 山田淳史
 受講アトリエ 【501】

2025/05/9(金)- 2025/06/09(月)
 9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

クライアントが参加する夏フェス用のグッズデザインを制作してもらいます。対象となるクライアントを各自設定し、夏フェス用グッズとして売れるデザインを考えてください。制作物は、うちわ／フォトホルダー／缶バッジ（モックアップ制作）、Tシャツ／タオル（紙ベースでの提出可）の計5アイテムと、A4サイズ商品カタログとなります。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	5月9日	金	○	オリエンテーション			メディアデザイン応用	サムネイル制作／講話：デザインについて
2	5月10日	土		—	—		物撮り&証写	※事前予約制
	5月11日	日						
	5月12日	月						
健康診断								
古美術研修旅行								
3	5月17日	土		—	—		企業説明会	
	5月18日	日						
4	5月19日	月		制作		○	個人面談	個別に方向性の確認／講話：グッズ制作について
5	5月20日	火		広告デザイン応用			制作	
6	5月21日	水		制作			就活ポートフォリオ	
7	5月22日	木		制作		○	制作チェック	講話：アイデアについて／講話：イメージについて
8	5月23日	金		制作			メディアデザイン応用	
9	5月24日	土		—	—		物撮り&証写	※事前予約制
	5月25日	日						
10	5月26日	月		制作			制作	
11	5月27日	火		広告デザイン応用			制作	
12	5月28日	水		制作			就活ポートフォリオ	
13	5月29日	木		制作		○	制作チェック	講話：センスについて／講話：クリエイティブについて
14	5月30日	金		制作			メディアデザイン応用	
15	5月31日	土		—	—		物撮り&証写	※事前予約制
	6月1日	日						
16	6月2日	月		制作			制作	
17	6月3日	火		広告デザイン応用			制作	
18	6月4日	水		制作			就活ポートフォリオ	
19	6月5日	木		制作		○	制作チェック	講話：仕事について
20	6月6日	金		制作			メディアデザイン応用	
21	6月7日	土		—	—		物撮り&証写	※事前予約制
	6月8日	日						
22	6月9日	月		制作		○	講評	

学習目標

ロゴ（ビジュアル）制作をし、各グッズに展開するまでを体験してもらいます。各グッズの特性を理解し、色数などを考慮しながらロゴ（ビジュアル）の展開を学んでいただきます。

予習・準備物

サムネイル制作用の筆記用具、ノートかスケッチブックを用意してください。イベントやライブのロゴやビジュアル、グッズを見ておくとも良いとおもいます。

評価方法

課題作品70% 制作態度・積極性30% 課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準としています。

広告デザイン応用

担当教員 近藤忠

受講アトリエ 【501】

2025/04/15(火)- 2025/07/08(火)

9：20-10：50/ 11：00- 12：30

授業内容

課題①：「キャッチフレーズとビジュアル」

提課②：「食品広告のビジュアル展開」

課題③：「広告コンペにトライする」

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月15日	火	○	オリエン／課題①：説明・講義			実技カリキュラム	
2	4月22日	火	○	課題①：提出・講評			実技カリキュラム	
	4月29日	火	GW					
	5月6日	火						
	5月13日	火						
	5月13日	火	古美術研修旅行					
3	5月20日	火	○	課題②：説明・講義			実技カリキュラム	
4	5月27日	火	○	課題②：ラフ提出・講評			実技カリキュラム	
5	6月3日	火	○	課題②：制作・提出			実技カリキュラム	
6	6月10日	火	○	課題②：プレゼン・講評			実技カリキュラム	
7	6月17日	火	○	課題③：説明・講義			実技カリキュラム	
8	6月24日	火	○	課題③：ラフ提出・講評			実技カリキュラム	
9	7月1日	火	○	課題③：制作・提出			実技カリキュラム	
10	7月8日	火	○	課題③：プレゼン・講評			実技カリキュラム	

学習目標

課題をとおり、広告表現の発想と技術を学ぶ。

予習・準備物

- 1.その都度、こちらで当日のスケジュールと課題内容をまとめたレジメを用意。
2.授業外作業（宿題）必須。3.基本的な文具（30cm直定規／カッター／はさみ）は常備すること。

注意事項

遅刻厳禁。たくさん発想し、ラフを描き、課題に取り組むこと。

評価方法

課題評価60％ 出席率40％（体調不良や忌引の届出の場合、考慮します）

その他

各スケジュールは進行状況によって変わる場合があります。講義は30分～40分程度の課題の説明講義です。

【生成AIについて】

発想プロセス：生成AI 使用禁止。

表現プロセス：自身でコピーを書き、絵を描き、写真を撮り、ビジュアルをつくること。

ただし、その調査・参考・加工・検証の使用は、個人の判断に委ねる。

3年ビジュアルデザイン科グラフィックデザイン専攻

エディトリアルデザイン応用

担当教員 奥定泰之

受講アトリエ [302]

2025/04/09(水)- 2025/05/08(木)
9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

タイポグラフィ、レイアウト、写真加工、色面構成、素材選択などの技術を総合させて、エディトリアル（編集）という意味を考えつつ、作品を制作する。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月9日	水	○	オリエンテーション			ポートフォリオ	
2	4月10日	木		制作			制作	
3	4月11日	金		制作			制作	
4	4月12日	土		—	—		物撮り&証写	
	4月13日	日						
5	4月14日	月		制作		○	作品制作のミーティング	
6	4月15日	火		広告デザイン応用			制作	
7	4月16日	水		制作			ポートフォリオ	
8	4月17日	木		制作		○	作品制作	
9	4月18日	金		制作			メディアデザイン応用	
10	4月19日	土		—	—		—	
	4月20日	日						
11	4月21日	月		制作		○	作品制作	
12	4月22日	火		広告デザイン応用			制作	
13	4月23日	水		制作			ポートフォリオ	
14	4月24日	木		制作		○	作品制作	
15	4月25日	金		古美研ガイダンス			メディアデザイン応用	
16	4月26日	土		—	—		—	
GW								
17	5月7日	水		制作			ポートフォリオ	
18	5月8日	木		制作		○	講評	

学習目標

エディトリアルデザインをより深く考察し、単なるアプリケーション操作を超えたエディトリアルデザインを具体的に考え、制作する。

予習・準備物

デザインが工夫されていると思われるエディトリアル作品（書籍や雑誌など）をいくつか持参すること。

評価方法

作品で評価（思考力も含む）

就活ポートフォリオ

担当教員 田中北斗
受講アトリエ【501】

2025/04/09(木)- 2025/07/02(水)
13:30-16:30

授業内容

各自の進路を見据え、希望するジャンルや企業などを検証。
企業の方向性に合わせた戦略的なポートフォリオの制作と合わせて、各自に合った自主課題（不足している作品、強化したいジャンルなど）を制作していきます。

①進路ヒアリング（各自のアンケートをもとにポートフォリオ内容を検証）
②各自の自主課題内容に沿って制作
③作品完成後は、ポートフォリオ用に撮影を実施

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月9日	水		実技カリキュラム	○		オリエン・進路について	進路アンケートを実施
2	4月16日	水		実技カリキュラム	○		PF現状チェック & 自主課題決定	PF実物持参
3	4月23日	水		実技カリキュラム	○		PFブラッシュアップ & 課題制作	進捗確認・個別相談
	4月30日	水						
4	5月7日	水		実技カリキュラム	○		課題制作	進捗確認・個別相談
	5月14日	水					古美術研修旅行	
5	5月21日	水		実技カリキュラム	○		課題制作	進捗確認・個別相談
6	5月28日	水		実技カリキュラム	○		課題制作	進捗確認・個別相談
7	6月4日	水		実技カリキュラム	○		課題制作	進捗確認・個別相談
8	6月11日	水		実技カリキュラム	○		PFブラッシュアップ & 課題制作	進捗確認・個別相談
9	6月18日	水		実技カリキュラム	○		PFブラッシュアップ	進捗確認・個別相談
10	6月25日	水		実技カリキュラム	○		PFブラッシュアップ	進捗確認・個別相談
11	7月2日	水		実技カリキュラム	○		PFブラッシュアップ・提出	●PF現物 & PDFデータで提出

学習目標

希望の進路に向けたポートフォリオ作りには「戦略的な構成」「客観的な自己分析」「企業分析」が大切になります。
また、PFのクオリティを上げる為の「作品撮影」も欠かせません。以上を踏まえた効果的なPF制作を目指します。

予習・準備物

- ① ポートフォリオ（プリントアウトした現物）
② 各自の進路情報（エントリー予定の企業、進みたいジャンルなど）

注意事項

提出物：現物 A3ヨコ（出力、製本やファイルなど） と 最終PDF（データ）の2種類

評価方法

- ① ポートフォリオ 及び 自主課題に取り組む姿勢 ② 制作物 2点を評価対象とします。

3年 ビジュアルデザイン科

メディアデザイン応用

担当教員 伊波英里

受講アトリエ 【301】

2025/04/18(金)- 2025/10/03(金)

13：30-16：30

授業内容

渋谷の街頭ビジョンやデジタルサイネージを使ったデジタル広告制作を想定し、リサーチ、企画、実制作、プレゼンまでを一貫して行います。実際の仕事の流れを体験することで、プロとしての制作スキルを養うことを目標とします。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月18日	金		実技カリキュラム	○		オリエンテーション	
2	4月25日	金		実技カリキュラム	○		課外授業（渋谷）ビジョン・サイネージ視察	※雨天中止
	5月2日	金						
3	5月9日	金		実技カリキュラム	○		企画書制作	
	5月16日	金					古美術研修旅行	
4	5月23日	金		実技カリキュラム	○		企画書制作	自習
5	5月30日	金		実技カリキュラム	○		企画書初回提出／FB：A	
6	6月6日	金		実技カリキュラム	○		企画書初回提出／FB：B	
7	6月13日	金		実技カリキュラム	○		企画書修正提出・絵コンテ初回提出／FB：A	
8	6月20日	金		実技カリキュラム	○		企画書修正提出・絵コンテ初回提出／FB：B	
9	6月27日	金		実技カリキュラム	○		動画制作	
10	7月4日	金		実技カリキュラム	○		動画進捗チェック／FB：A	
11	7月11日	金		実技カリキュラム	○		動画進捗チェック／FB：B	
夏季休暇								
12	9月5日	金		実技カリキュラム	○		動画初回提出：AB	
	9月12日	金					創形祭準備期間	
13	9月19日	金		実技カリキュラム	○		動画進捗チェック／FB：A	
14	9月26日	金		実技カリキュラム	○		動画進捗チェック／FB：B	
15	10月3日	金		実技カリキュラム	○		講評	

学習目標

多種多様な街頭ビジョンやデジタルサイネージが集まる"渋谷"の街を舞台に、デジタル広告の可能性を探ります。

予習・準備物

街中にある大型ビジョンやデジタルサイネージ、トレインチャンネル等のデジタル広告を観察すること。
自分が広告映像を制作したい製品やブランド等、題材の候補をいくつか考えておいてください。

注意事項

仕事を想定しているため、全プロセスがとても重要な授業です。遅刻や欠席が無いように気をつけてください。

評価方法

課題作品50% 制作態度30% 進行管理能力20%